

## 全国路面電車サミットとは

1993年（平成5年）7月に札幌市（中央区）の呼びかけで、路面電車を積極的にまちづくりに活用していくことを目的に「市電街づくりフォーラム」を開催。

フォーラムの開催にあたり、開催前日に札幌市中央区が主催して全国の路面電車愛好支援団体と事業者の代表が一同に会し、初の路面電車サミット（市電愛好団体サミット）が開催された。サミットでは各地の愛好支援団体と事業者が相互に交流を深め、路面電車を取りまく課題、問題等について意見交換を行い、路面電車の持つ利点を見直

し、公共交通機関としての役割、活性化等について議論を深め、路面電車の社会的な役割や魅力を認識し、路面電車の今後のあり方についてさまざまな提言をした「サミット宣言」を行った。

以後ほぼ2年ごとに路面電車運行都市において開催されてきた。6月10日の「路面電車の日」もこの路面電車サミットの提言を受けて制定された。

路面電車サミットは、回を重ねるごとに国や各地の地方自治体や市民の路面電車に対する関心が高まり、高齢化社会への対応や地球温暖化、交通渋滞、中心市街地の衰退等の都市問題のひとつの対応策として、欧米のLRTの流れも紹介された。しかし一時はLRT検討都市が70にも及んだものの、国内で本格的LRT開業は富山・宇都宮の2都市に限られている。

なお路面電車サミットは市民協働による交通まちづくりの交通系会議の先駆となり、その後のバスマップサミット、人と環境に優しい交通を考える全国大会、LRT都市サミットなどと連携し、交通まちづくり運動の交流の場となっている。



### ■全国路面電車サミットの開催歴

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 第1回 札幌市(1993)  | 第11回 大阪・堺(2012) |
| 第2回 広島市(1995)  | 第12回 鹿児島市(2015) |
| 第3回 岡山市(1997)  | 第13回 松山市(2018)  |
| 第4回 豊橋市(1999)  | 第14回 札幌市(2019)  |
| 第5回 熊本市(2001)  | 第15回 長崎市(2022)  |
| 第6回 函館市(2003)  |                 |
| 第7回 高知市(2004)  |                 |
| 第8回 長崎市(2006)  |                 |
| 第9回 福井市(2008)  |                 |
| 第10回 富山市(2010) |                 |

